

令和2年度江南区地域公共交通検討会議 会議概要

日 時	令和3年1月25日(月) 午後3時～午後4時	会 場	江南区福祉センター 2階多目的ルーム
出席者 (敬称略)	<p>【委員等】石崎 覚・小野 正博・豊岡 克・小林 勲・杉本 克己・田村 唯次・松田 英憲・三田 啓祐・千代 健二・塩原 隆太郎・新田 文雄・比企 博明・西山 富也・吉田 宏・土田 雅彦 (以上15人)</p> <p>【事務局】江南区地域総務課係長・同課副主査(以上2人)</p>		
傍聴者	0人		
会議資料	<ul style="list-style-type: none"> <li>・次第、出席者名簿</li> <li>・「江南区生活交通改善プラン」(案)</li> <li>・第2回江南区公共交通検討会議 質疑概要一覧</li> <li>・第2回江南区公共交通検討会議 会議概要</li> </ul>		
議事	<p><u>○江南区生活交通改善プランの進捗について</u> 資料1に基づき説明した。</p> <p><u>○各団体での令和2年度の状況や取り組みについて</u> 資料2について、両川地域バス運営委員会から説明、資料3について大江山地区バス運営委員会から説明後、各団体の状況や意見交換を行った。</p> <p>(さくら交通) 路線バスとなると限られた地区の人しか利用できないし、市からの補助も必要で、あちこちで走らせることは不可能である。他区の会議で聞いた話だが、通常のタクシーで乗り合いを実施している地域があるようだ。江南区においても実証実験など、取り組んでいくことも事業者として可能である。</p> <p>(大江山地区バス運営委員会) 大江山に隣接する亀田駅、大形駅、東新潟駅への移動手段を確保しようと考えている。また、社会福祉法人からも稼働していない時間帯の車両について、協力が可能という声もいただいている。なんとか3年のうちに新しい移動手段を構築したい。</p> <p>(新潟市ハイヤー・タクシー協会) 高齢者が免許返納した後、どう生活していけばよいか不安という声を聞く。免許返納した後について、定期的なアンケートなど実施して新しいニーズ・移動手段について考えてもらいたい。</p> <p>また、高齢者の移動に関して、全国を見るとタクシー定期券など、さまざまな制度がある。バスや鉄道ではできないこともタクシーであれば解決できる問題もあるので、地域の課題解決のためにもタクシー協会に相談いただきたい。</p> <p>(さくら交通)</p>		

	<p>東京ではスマートフォンを活用した相乗りタクシーが走っているが、高度なシステムで使いにくく、見知らぬ人と相乗りするのは不安があると思う。集落の人同士であれば、顔見知りなわけで、何時にどこからどこまで行けるというタクシーなら相乗りも実現可能と考える。新しい公共交通のひとつとしてタクシーを検討していただければ幸いである。</p>
--	---